

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1589号 2001年05月07日(月)

連休明けの今日は、今週の予定を中心にお伝えしておきます。新聞がなくて、「今週は
どういう予定なのか」と思われている人が多いでしょうから。

5月7日(月)	小泉総理所信表明演説 米3月消費者信用残高
5月8日(火)	3月全世帯家計調査 米1-3月労働生産性 米3月卸売り在庫
5月9日(水)	国会各党代表質問 3月景気動向指数 英中銀金融政策委員会
5月10日(木)	4月卸売物価・マネーサプライ グリーンSPAN議長講演 米4月輸出入物価 ECB理事会
5月11日(金)	3月機械受注 米4月小売売上・卸売物価 米5月ミシガン大学消費者態度指数

まず注目されるのは、今日午後に行われる小泉首相の所信表明演説でしょう。小泉内閣は組閣から時間を置かず連休入りし、実質的にこの期間は空白期間。朝鮮民主主義共和国の金正日総書記の長男・金正男と見られる男性の不法入国問題という飛び入りの問題はあったものの、この政権にとってその評価が決まってくる経済問題は発足時点から動いていない。

竹中・経済財政政策担当大臣が急遽アメリカに行ってホワイトハウスのリンゼー経済問題担当補佐官らと会談したくらいが目立った動き。これも、今までのブッシュ政権の対日政策をサウンドし、日本の新政権の基本的政策を説明した面が強いと思う。しかし今週は小泉首相の所信表明演説で、同首相が繰り返し力を込めて言う「改革」の中身が明らかになるはずである。各党の代表質問も予定されているためだ。

自由民主党の総裁選挙の際にも、小泉現首相の言う「改革」の中身は必ずしもつまびらかではなかった。「自民党を変える、日本を変える」というスローガンを強烈に前に出すことによって人気を博し、その勢いで勝って、そのまま当初の支持率調査では軒並み80%以上という驚異的な数字を出したという経緯。

首相もそういう批判は知っているだろうし、連休という長い準備期間があったから中身を詰める時間的余裕は過去の就任首相よりはかなりあった筈であり、逆に言えば今回の所信表明演説でも中身を具体的に示せないようなら、「看板倒れ」の批判を浴びることになる。

当面はG7の場などでも日本が約束した「Vigorous implementation of financial and corporate sector reforms」(金融・企業部門改革の力強い実行)を具体的にどう進めるのかが問われる。具体的には銀行サイドの不良債権の処理と企業部門の過剰債務との取り組み。本来はそれぞれの業界が自ら解決しなければならない問題だが、対外的にも公的な約束をした経緯があるから、政府の政策が問われることになる。株式買い付け機構構想などにどういう姿勢を示すかも注目である。

連休中に進んだのは、円高である。120円台前半での推移という大きなピクチャーは変わっていないが、小泉首相の所信表明演説の内容次第では円高がもう少し進む可能性も高い。120円切れのドルは十分ありうる。しかし、そのまま一気に円高が進むとは予想しない。為替市場はとりあえずは、円高のモメンタムを残しながらの推移となる。

先週末発表された米雇用統計(4月分)では、同国の雇用環境が悪化していることが明確になった。失業率が4.5%に上昇し、非農業部門の就業者数は22万3000人という1991年の前回リセッション期以来の大幅な減少を記録した。4.5%という失業率は、1998年10月以来の高さ。ただし、時間当たり平均賃金は0.4%上昇し、米労働市場は強さも残している。

先週金曜日の発表前予想は、失業率が4.4%への上昇(3月は4.3%)、非農業部門就業者数は2万5000人の増加というものだったから、実際に出た数字は市場も驚くものだった。セクター別では、景気悪化の影響をもっとも受けている製造業の雇用減少が著しく、4月は10万4000人。製造業の雇用は昨年6月以来55万4000人も減少しているが、その大部分は過去4ヶ月に発生している。

もっとも株式市場は「これでFRBが金融緩和を進めるペースは落ちない」との見方から上昇した。もっとも雇用情勢の悪化は株式市場にとって必ずしも悪いことではない。必要な調整が進んでいる証拠とも考えられるからだ。今週もいくつかの指標が発表されるし、グリーンSpanの講演も予定されている。

あとは、一貫して利下げを拒否しているECB理事会も予定されている。予想外の事が起きてもおかしくない状況とも考えられる。

《 have a nice week 》

黄金週間はいかがでしたか。西のある国から金づくめの珍しい人が来ましたが、日本の措置としては電光石火で強制終了。問題は残りましたが、私にはそのスピーディーさに驚きました。

ところでこの連休の直前でしたが、携帯電話を落としてメモリーをすべて消してしまったことからこの読者にとっても役立つサービスの存在を知りましたから、参考までに。

NTT ドコモのサービスです。自分の携帯電話をドコモの一定の条件を満たす店に持っていくのです。そしてそこで携帯電話の中に入っている電話番号、住所などのデータを特殊フォーマットのファイルでFDに落としてもらうことができる。このファイルは普通のPCでは開けないのですが、PCの片隅に置いておいても良いし、FDをそのまま持っ

ていてもよい。
で私のように携帯を落としてメモリーを消してしまった場合でもそうですし、携帯をなくしたような場合でも、そのFDをドコモショップにもって行ってデータを復活してもらう。ドコモがくれたFDには全部で以下の7つのファイルが入っていました。

< < backup > >
< < backup.MDM > >
< < backup > >
< < backup.MDX > >
< < backup.MDY > >
< < backup > >

重複している理由は知りません。このドコモ・ファイルが良いのは、普通の携帯電話番号保持ソフトだと新しい機種が出るたびにに対応に時間がかかるのと、対応したと思っても第一電話番号にしか対応しないことが多いのに、そうした制約がないこと。実際の我々の携帯電話ファイルには、一つ一つの項目に対して普通電話番号と携帯電話番号、それにメールアドレス、住所、それにちょっとしたメモなどいろいろ入っている。それを全部復活してくれる。

勘の良い人は、「民間のソフト業者にとって脅威では……」と思うと思います。そういう面はある。しかし、携帯番号バックアップソフトには自分のPCに入れておけばいつでもドコモの店にいかなくてもデータを復活できるという利便性がある。だから私は、両方のデータをいつも持ち運んでいるメモリースティックに入れることにした。

当然ですが、ドコモショップの中にあるマシンを使って読み取り、それをFDに落とすだけですから、コストはそれほどかからない。サービスとしてやってくれるケースが多

いのでは。私はただでやってもらいました。店によって違うかもしれませんが。直近の携帯入力データは落ちますが、幹のところのデータがいつでも復活できる環境にあるというのは安心です。まず、近くのドコモショップに電話して、そういうサービスをその店でしているかどうかを問い合わせるのが最初ですかね。

それでは、皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤（ 03-5410-7657 E-mail ycaster@gol.com ）が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》